



いま注目シェアハウス

まさに自然と一体化した暮らし

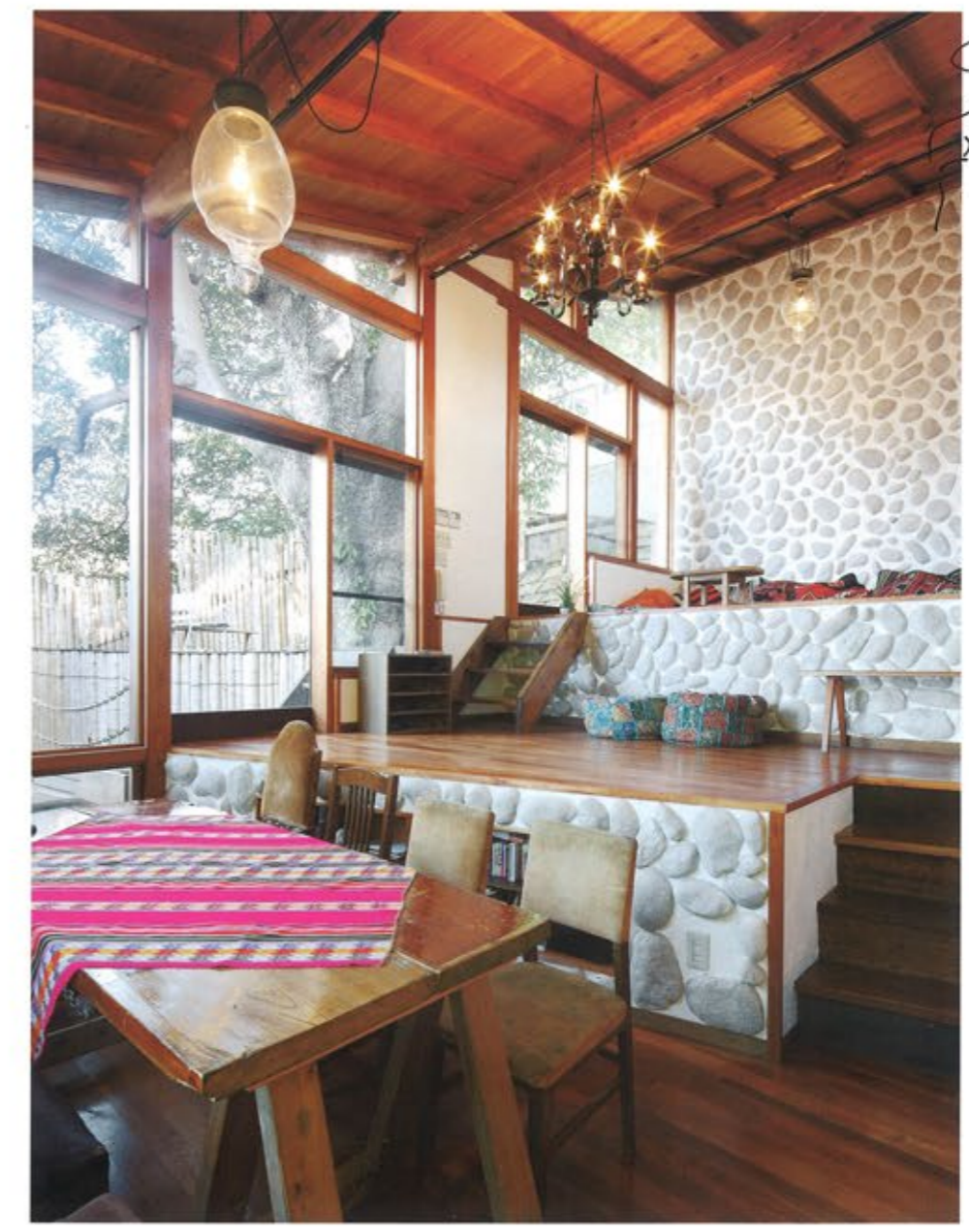
# CASE 6

## ツリーハウスと暮らす

バウハウス横浜 (神奈川県・横浜市)

横浜の住宅街にそびえる大木には秘密基地のようなツリーハウス。この大木を囲むように佇む家には、自然と一体化する暮らしがここにはあった。

文=編集部 写真=津久井輝明 text:Discover Japan photo:Teruaki Tsukui



急傾斜を活かして三段構造になっています

大きな窓から自然を望む明るいリビングルーム。柱や床などの木材は大工さんが1本1本、丁寧に削り剥液で風合いを出している。また天然の石を使うなど室内も自然を感じられるつくり。インテリアはアンティーク調でコーディネート



リビングの一番高い場所からの眺め。自分のいる位置によってまったく違う見え方をするのが、ここの特徴といえるだろう

# Living space

喧噪とは無縁のくつろぎスペース



**Data**  
 所在地：神奈川県横浜市  
 神奈川区三ツ沢  
 アクセス：横浜市営地下鉄ブルーライン「三ツ沢下町」駅から徒歩約7分  
 敷金/礼金：なし  
 賃料：6万2000円～6万8000円  
 共益費：1万円  
 間取り（面積）：7.4畳  
 入居条件：日本人は身分証明書、連帯保証人。外国人はパスポート、ビザ、外国人登録証明書、国内の緊急連絡先  
 入居形態：男女混合  
 共有スペース（施設内容）：ラウンジ共用TV（1台）、共用キッチン（1台）、バスルーム・シャワールーム（各1室）、トイレ洋式（男女兼用4室）、ランドリー（2台）、インターネット環境完備、駐輪場  
 物件種目：シェアハウス  
 施工：2011年  
 構造：木造  
 問い合わせ先：大関商品研究所  
 www.ozekilab.jp



1) 個室は全8室。すべて7.4畳の広さ。2) 窓側に備えられた開放的なキッチン。食器や調理道具などは装備されている。3) 住居棟の廊下。洗面台などは共有。4) 風呂場にも大きな窓がある気持ちのいい空間。竹林で中が見えないので安心

# Nature space

四季を感じるネイチャースペース



横浜市街を眼下に気持ちいい〜



カフェハウスを通り抜けると、屋上のテラススペースへ。天気の良い日はここで横浜市街を眺めながらお茶をいただくこともできる

**横** 浜の閑静な住宅街。高台にそびえる。なんじやもんじやの木。と命名された大木に、トムソーヤの冒険を彷彿させるツリーハウスがある。周辺には木々が茂り、四季を問わず小鳥が集うこのツリーハウス。それを囲むように、すべて手作業でつくられたシェアハウスが佇んでい。入って左側はリビング&キッチンスペース、正面は居住スペースとなり、元からある緑と急斜面を活かした立体的で奥行きのある空間。大工

さんが昔ながらの製法で、1本1本削り出した柱を使い、さらに室内からでも緑を感じられるように窓を大きくして開放的にするなどこだわりがうかがえる。都会にしながら山小屋で過ごしているかのようには暮らせるのが魅力だ。ツリーハウスは、居住者の共有スペースであるが、週に2回、カフェとしてオープン（金・土曜日を中心と不定期）。管理人でハウス住人でもある立花さんがつくるごはんやスイーツを楽しむことが

できるというしくみだ。より自然と過ごせるように、ウッドデッキやリビングの屋上にもテーブルや椅子を置いてある。横浜の四季をこの小さな空間で思う存分味わえるのだ。現在入居しているのは20代半ばから30代半ばの男女。「自然に帰って暮らしたい」「デザインや雰囲気が入った」などの理由でここを選んだ人たちばかり。自然とともに暮らす。そんなシンブルで素朴な暮らしが実現する。



1) カフェでもあるツリーハウスは、木の枝を活かしたつくり。レトロなインテリアと同調した癒しの空間。2) カフェは週に2日一般客も利用できる。3、4) 木々に守られるように佇むハウス